

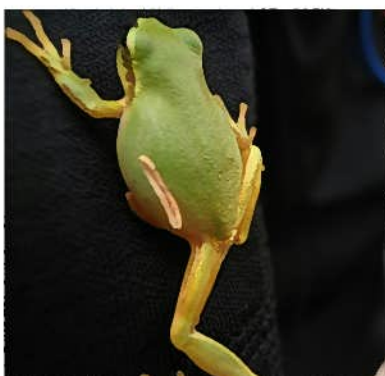
8月『農家体験プログラム』

～全行程アルバム～

2010年8月8日（日）

今回のキッズフィールドは、「トウモロコシの収穫体験と昆虫さがし」です。
トウモロコシは、何と生で食べられる品種でした。糖度も高く、大変美味でしたよ。
食後はみんなで本格的な昆虫さがし。楽しそうな様子を、画面でお伝えいたします。

～ウイングキッズ企画室一同～



暑い時期でも、子どもたちは元気いっぱい。

トウモロコシを採ったその場でむいてムシャムシャ。みんな、「あま〜い！」
「おいし〜！」を連発！



《到着～そして説明》



はじめに訪れたのは、南房総市の田村農園さん。即売所の前で、みんなで説明を聞きます。

「今日のトウモロコシは、ひとり3本とっていいよ。」

ある、お母さん

「ふだんでも、ひとりでそんなに食べないわ。」

でもみんな実際は…。

説明していただいたのは、田村農園の田村さん。

「今日みんなにとってもらうトウモロコシは、こんなに白いんだよ。生で食べられるように、無農薬で育てているんだ。ピュアホワイトっていうんだよ。」

「糖度は、多いときは20度にもなるんだ。だから、メロンより甘いんだよ。でも、そのぶん虫もつきやすいから育てるのは大変なんだ。」

「へえ～！」



「さあ、みんな食べてみてごらん。」
もちろん、生です！



「うわっ！あま～い！」
大人もみんな、かぶりつきました。

《トウモロコシ畑へ》



さあ、みんなでトウモロコシ畑へ！

「なにが始まるの？」

子どもたちはワクワクしています。



ザワワ、ザワワとトウモロコシの葉が風にゆれています。
でも、このトウモロコシは飼料用のトウモロコシ。→

さあ、到着しました。でも、畑のまわりには電流が…。



この柵に電流を流すのは、タヌキやイノシシに食べられるのを防ぐためだそうです。(入るときはもちろんはずしました。) いちばんやっかいなのは、「ハクビシン」という動物で、これが来ると、たくさん食べられてしまうそうです。だから、軽トラックに寝泊まりしながら、監視することもあるとか。

作物を作るって、大変なんですね。



これがハクビシン→



「トウモロコシのとり方、みんな知っているかな？」

「実から生えてる毛が茶色くなってるのをもいでね。」

「もいだら、すぐに食べてもいいよ。」

初めて畑に入る子どもたち。

一生懸命説明を聞いています。



みんな一斉に畑の中へ！

「どれが、大きいかなあ…」

なるべく大きいのをとってね！

親子で一緒にとりました。



大きいのとれた？

「カエルがいたよ！」



「ぼくは、一人で大きいの見つけるんだ！」



これは「雄花」



これが「雌花」



誰かが見つけたコガネグモ。
あれ？足が2本とれてるよ。



ほら、こんなにとれたよ！



とったトウモロコシをその場でバクバク
「おいしい！」



とりたてだけに、とても美味！
「甘いね！」「ほんと！」



今回は、トウモロコシ畑で記念撮影です。

「パシャ！」 「お〜い、まだ食べてるのはだあれ？」 いっぺんに3本食べた子もいましたよ！



今回の「ピュアホワイト」という品種は、5年ほど前から北海道で栽培が始まり、千葉でもまだ4年目だそうです。生産数が少なく、ネット販売以外ではなかなか手に入らない品種だそうです。

偶然ですが、この翌日に正午からNHKの「ふるさと一番」という番組で、田村農園さんが紹介されました。佐藤弘道お兄さんがレポーターだったそうです。マスコミも注目している品種なんですね。

《昼食、そして昆虫さがしへ！》

次は、大房岬で昼食と昆虫探しです。



初めて参加した子が、
「ねえねえ、次は何するの？」
「虫とりだよ！」
「おもしろそう！」

着いてすぐに、「あ、何かいる！」「え？なあに」
大人も子どもも興味津々。「その前にお昼ご飯だよ！」



まずは腹ごしらえ。

「こういうところで食べるとおいしいね！」



現地のスタッフの方が、トウモロコシを焼いてくれました！
しょう油のこげるにおいが、あたりに立ちこめます。
う～ん、おいしそう！

「うま～い！」

「焼いてもおいしー！」

みんなの食べてるそばには、ヤブランが咲いていました。よく見るとセミの抜け殻が…。



食事のあとは、カブトムシやクワガタの観察会です。
現地のスタッフの方が、事前にとっておいてくれたものです。



さあ、次はいよいよ昆虫探しだよ！



カブトムシやクワガタはこういう木にいるんだよ。
「え？いるの？」前日から仕掛けられたトラップをみんなじっと見えています。



「あ！ここに何かいる！」



「じゃあ、本格的に木の上にいる昆虫をとってみよう！」



「あ！何か落ちてきた！」
おや珍しい！“ナナフシモドキ”です。



最後は、大房岬の広い公園で虫取りです。



「ほら！でっかいでしょ！」

図鑑ですぐに調べます。



おや、珍しい！ オトシブミですね。

今回の体験学習は、トウモロコシを生で食べられるという、サプライズなおまけ付きでした。参加されたみなさんが「初めて生で食べます！」と大変驚いていらっしゃいました。体験の最後には、弾薬庫跡の洞窟にすむコウモリを見る機会もありました。（大房岬は先の大戦までは要塞だったため、弾薬庫跡や砲台跡がたくさん残っています。残念ながら暗すぎてコウモリの写真はとれませんでした。）

体験中、嬉しいお話をうかがいました。これまで昆虫にはさわれなかったのに、初めて昆虫にさわられたというのです。無理矢理でもなんでもなく、自然に触れているうちに意識せずにさわることができたのでしょう。自然の持つ力には驚かされます。

※参加者の方には写真の使用についての承諾を得てあります。

撮影…ウイングキッズ企画室：日高（一部、松村様から写真を拝借いたしました）